

おおさか男女共同参画プラン(2016~2020) 一次評価シート(数値目標評価)

資料3

A: 目標を上回って達成の見込み
B: 目標を達成する見込み
C: 目標を達成できない見込み

達成を見込む要因・理由
達成できない要因・理由
今後の課題等を中心に記載

項目	数値目標	平成28年度	平成29年度	現状値	数値目標に関連する、H28から現在までの取組内容	自己評価(事業担当課)	プラン目標値	参考・比較指標	部局	課
1 (1)	社会での女性の活躍が以前より進んだと思う府民の割合	70.8% (H26年度)	70.8% (H26年度)				90%		府民文化部	男女参画・府民協働課
	「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の周知度	43.6% (H26年度)	43.6% (H26年度)				70%	42.2% (H28年度) 男女共同参画社会に関する世論調査	府民文化部	男女参画・府民協働課
	男性の育児休業取得者の割合	1.9% (H25年度)	1.9% (H25年度)				全国平均を上回る	全国平均:4.59% (H29年度雇用均等調査)	府民文化部	男女参画・府民協働課
	6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連時間	56分/日 (H23年)	85分/日 (H28年)				全国平均を上回る	全国平均:82分/日 (H28年度社会生活基本調査)	府民文化部	男女参画・府民協働課
1 (2)	社会で女性の活躍が以前より進んだと思う府民の割合〔再掲〕	70.8% (H26年度)	70.8% (H26年度)				90%		府民文化部	男女参画・府民協働課
	審議会等における女性委員の登用率	30.2% (H28年度)	30.6% (H29年度)	32.1% (H30年度)	(例) ・女性委員登用について部長会議及び次長会議で各部局に呼びかけ ・各部局を訪問し、女性委員登用を依頼 ・ドーンセンター「人材情報データベース」の登録者増加に向け、各大学や「大阪サクヤヒメ表彰」受賞者等へ登録を呼びかけ	(例) 登用率の推移をみると、H30年4月1日時点実績は32.1%。各部局の協力を得て、女性委員比率も少しずつ上昇しているが、「4割」という目標値には未達。 理工系分野など女性人材の少ない領域における人材の登用に苦慮している部局が多く、引き続き人材情報データベースの活用を促進するとともにデータベースへの登録者の増加にも取り組みたい。	40%以上 60%未満	「第4次男女共同参画基本計画」 「国の審議会等における女性委員の参画状況調べ」 40%以上60%以下(H32年) 国の現状値:37.6%(H30年)	府民文化部	男女参画・府民協働課
	管理的職業従事者※1に占める女性の割合	11.4% (H27年度)	11.4% (H27年度)				11%	全国平均9.7%(H27年度国勢調査)	府民文化部	男女参画・府民協働課
	自治会長に占める女性の割合	15.1% (H28年度)	15.4% (H29年度)				15%	全国平均5.4% (地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況)	府民文化部	男女参画・府民協働課

(以下省略)